



海から生まれる体験学習 (教育旅行誘致推進事業)

江田島海生体験交流協議会

広島県江田島市大柿町大原505番地

電話0823 (43) 1632 FAX0823 (57) 4432

事務局 江田島市役所 産業部 交流観光課内

協議会の概要(取組)

江田島海生体験交流協議会

本協議会組織の構成は、広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会と連携し、江田島市副市長を会長に市観光協会、市商工会、市漁業振興協議会と民泊・漁業などのインストラクターで構成されており、市及び市関係団体が一体となって海を活用した様々な体験活動を展開しています。

受入体制

1日1校（原則1軒4人又は3人）とし、240人（民泊軒数：80軒）の受入が可能です。

また、受入する家庭は、食の安全を目的とした食品衛生講習会と、救急対応を目的とした消防安全講習会を受けた家庭が受け入れています。

さらに、受入直前には体験インストラクターを対象とした研修会の開催や、各地の民泊家庭で受入リハーサルを行い、全体での情報共有及び安全管理体制の整備を行っています。



ほんもの体験フォーラム分科会



インストラクター研修



民泊受入前研修



受入風景(カキ打ち体験)

実績及び計画

平成28年度	大阪府中学(200名)、神奈川県高校(153名)、埼玉県高校(201名)、長野県高校(113名)など計18校	約2,300名受入
平成29年度	静岡県中学(166名)、大阪府中学(190名)、神奈川県高校(196名)、茨城県高校(154名)など計29校	約4,000名受入
平成30年度	神奈川県中学(145名)、大阪府中学(201名)、神奈川県高校(229名)、茨城県高校(156名)など計35校	約4,000名受入
令和元年度	神奈川県中学(208名)、大阪府中学(196名)、神奈川県高校(240名)、茨城県高校(240名)など計35校	約3,600名受入

江田島市の地理・アクセス



(1) 2つの世界遺産から近い

- 広島港(広島市)から江田島市へ
 - ・船(高速船、フェリー)で約30分。
- 宮島(廿日市市)から江田島市へ
 - ・チャーター船で約40分



◎世界遺産の

- ・原爆ドーム(広島市)
- ・厳島神社(廿日市市)からとても近い

(2) 複数の入島ルート

台風などの荒天により、船が欠航しても陸路で江田島市に入島することができます。江田島市は、2本の橋で本土と接続していますので、呉市から陸路で入島することができます。(呉市から車で約40分)

船料金表（江田島海生体験交流協議会関係） よく利用される航路のみを抜粋

航路	広島港～中町港 （定期便）	広島港～中町港 （チャーター便）
船種	高速艇	高速艇
定員	スーパー千鳥 223人 コイ千鳥 220人 ロイヤル千鳥 188人	スーパー千鳥 223人 コイ千鳥 220人 ロイヤル千鳥 188人
大型バス	—	—
所要時間	30分	30分
料金 （税込抜）	旅客定員まで	140名未満 690円/人（税込） 付船の場合 890円/人（税込）
	バス	—
運航可能時間	時刻表による	要相談
運航会社	瀬戸内シーライン㈱	瀬戸内シーライン㈱
備 考	団体割引は15名以上 で学生（付添人含む） の場合は3割引	2隻運航可



航路	中町港～宮島港 （チャーター便）	中町港～宮島港 （チャーター便）	中町港～宮島港 （チャーター便）
船種	高速艇	フェリー	銀河
定員	スーパー千鳥 223人 コイ千鳥 220人 ロイヤル千鳥 188人	436人	400人
大型バス	—	—	—
所要時間	30分	60分	60分
料金 （税込抜）	旅客定員まで	100名以上 2,020円/人（税込）	20万円（税別）
	バス	—	—
運航可能時間	要相談	要相談	定期ランチ、 ディナー以外の時間
運航会社	瀬戸内シーライン㈱	上村汽船㈱	瀬戸内海クルーズ（株）
備 考	2隻運航可		

※上記はいずれも片道料金となります。

※定期便乗船の予約は基本的にできません。到着順の乗船となります。ただし、15名以上の場合は事前にお知らせください。（付船、臨時便等で対応できる場合もあります。）

※「付船」とは定期便が定員に達した場合に増便する船の事です。よって一般客とも一緒になる可能性があります。

※なお、詳細等ご不明な点は、各事業者及び中国旅客船協会（082-253-6907）へお問い合わせください。

400名(10クラス)の共同受入体制

江田島市200名
(5クラス)

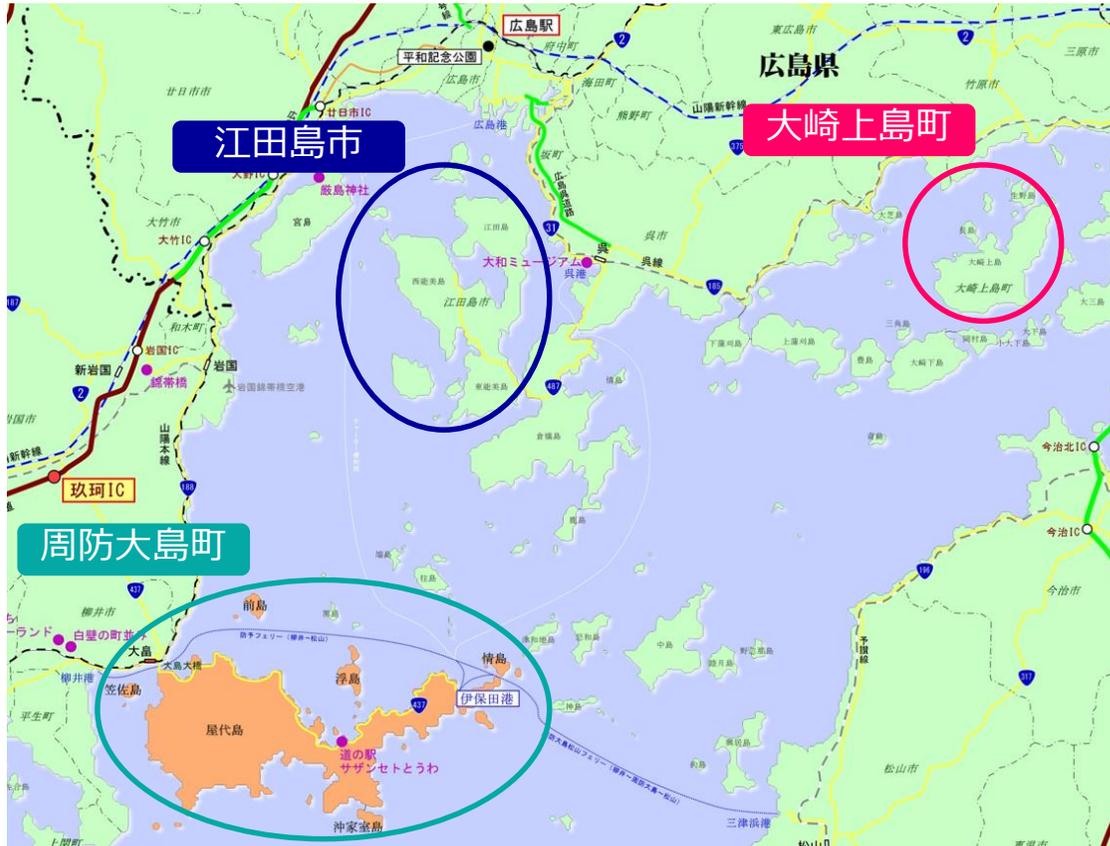
+

周防大島町 200名
(5クラス)

または

大崎上島町 200名
(5クラス)

= 400名
(10クラス)



◆ 周防大島町の単独受入では200名(5クラス)が上限ですが、他地域と共同受入することで、最大400名(10クラス)を受入れることが可能です。
広島湾ベイエリア広域のなかでも、周防大島と同じ島の地域で海の体験が充実した江田島市や大崎上島町とおもに共同受入をしています。

◆ 過去の民泊共同受入実績
H24:高1校 H25:高1校 H26:高1校
H27:高2校 H28:高3校 H29:高2校
H30:中1校・高1校 R1:高1校

何故今、江田島市なのか

①少人数による被爆者体験講和を生の声で聴くことができるタイムリミットが迫っています。

○講話のできる方 3名
(江田島市原爆被害者の会)

○受入最大人数 240名

②牡蠣の生産地で行うカキ打ちや穏やかな海でシーカヤックや釣りを体験できます。



カキ打ち体験	受入人数	40名
シーカヤック体験	受入人数	80名
船釣り体験	受入人数	40名
浜辺釣り体験	受入人数	40名
吾智(ごち)網体験	受入人数	40名



③瀬戸内海の美しい自然に、島の暮らしの厳しさと喜びを学び、島人との交流によって心を高めます。



温暖な気候ならではの
みかん収穫や、釣りな
どを体験できます。

民泊体験
受入人数 240名



オススメ① 自分たちが食べているものの生産過程への意識が希薄になっている現代には、それを知る機会が必要です。カキ打ち体験を通して、食への意識の向上を図ります。

江田島市は、カキの生産量
全国第1位。その特性を生かした

カキ打ち体験

期待できる教育効果

殻付きかき
全国生産量の約15%
25,681トン (H29)

生産現場で食を伝える

少しでも安定した生きる糧を手にした。
そんな人々の切実な思いが開花させた「養殖」という
行い。その行いの中には人間の叡智がふんだんに詰め込
まれ、現代の私たちの暮らしを支えています。

瀬戸内海に面した江田島市では、地の利を生かしてカ
キの養殖が盛んに行われています。海と正面から向き合
い、生態系との絶妙なバランスを保ちながら、地元漁師
が手塩にかけて育てたカキのおいしさの秘密や、養殖に
まつわる驚くべき技術の数々を学ぶことができます。

生産現場を体験するだけでなく、食することまでを1
つのプログラムとしており、**食べ物**が自分たちの口に入
るまで、**たくさんの努力がある**ということを知ってもら
う**食育の機会**ともなります。

その他の教育効果

**職場体験活動・食育の推進・異年齢との交流・表現力
(自己PR・意思を伝える)・安全管理**



生徒さんの感想

日ごろ体験することのない貴重な体験ができた。
カキの開け方を全く知らなかった。
貝柱を切り離せば殻が開くなんてビックリ!!
カキを初めて食べた。カキが美味しかった。
食べず嫌いを克服した。
カキにはいっぱい栄養があることを知った。
カキ屋のおじさんが面白かった。

最初は使い慣れないカキ打ち道具に悪戦苦闘した
けど、2個目3個目にはコツを覚えて上手に殻を開け
られるようになった。
食卓にかきが並ぶまでの過程を学び、かきへの愛着
が増した。
社員の食べ方は知っていても、どのように収穫するか
知りませんでした。

体験の流れ (3時間)

- ① 自己紹介・諸注意等
- ↓
- ② カキができるまで等の説明
- ↓
- ③ 作業場見学
- ↓
- ④ 殻通し作業(採苗器づくり)
- ↓
- ⑤ カキ打ち体験
- ↓
- ⑥ カキの試食
- ↓
- ⑦ まとめのお会・感想等

体験の概要

江田島市内のカキ生産者とふれあひながら、
カキの生態や生産方法を学ぶことで、広島県
の特産でもあるカキ打ちの技術を体験できま
す。夏カキの開発により1年を通して体験が可
能です。

まずは、カキができるまでの一連の流れを説
明、江田島市のカキの生産状況を説明します。
その後、20人程度のグループに分かれ、カキ
の幼生を付着させる採苗器(さいびょうぎ)づく
りとして、ホタテの貝殻に針金を通す作業をし
ます。次に実際にカキを打ってむき身にする作
業「カキ打ち」を体験し、最後にカキを食べてい
だきます。(1~2個:時期による)

食べる用のカキは、カキ打ちで使ったもので
はなく、別に用意しておりますので、加熱処理
を行い、衛生面でも安全です。

受入可能人数:80名 実施時期:通年

オススメ② 穏やかな瀬戸内海で、安全安心にマリンスポーツ。先生や保護者にも安心です。
シーカヤックは、安定性が高く、ふざげなければまずひっくり返ることはありません。

安全なマリンスポーツ
波静かな海を間近に感じる

シーカヤック

期待できる教育効果

自信と体力をつける

穏やかな瀬戸内海でシーカヤックをすることで、仲間同士の連帯感や協調性を楽しみながら培うことができます。泳げない人でも大丈夫です。

その他の教育効果

体験活動・スポーツの推進・異年齢との交流・表現力(自己PR・意思を伝える)・安全管理

今流行りの
SUPもできる!?

シーカヤックの活動範囲(概要版)



アウトドアブランド「mont-bell」のイベント
SEA TO SUMMITの開催地でもあります。



生徒さんの感想

最初絶対落ちると思っていたけれど、説明を聞いてうまくできたので、とても面白かったし、いい経験ができた。
海がすごくきれいで、江田島のように海の近くに住みたいと思った。
初めてシーカヤックをしたが、インストラクターの人が丁寧に教えてくれたので、とても楽しく、満足でした。
楽しかった。またやりたい。

体験の流れ (3時間)

① 砂浜で、操船、乗り方、降り方などの説明



② 近海で、操船の基礎練習



③ 沖合いで、長い距離の操船体験

体験時間:3h

受入可能人数:80名 実施時期:通年

体験の概要

海を間近に感じられるシーカヤックで、健康的に体験できます。
インストラクターが乗り方、漕ぎ方を丁寧に教えてくれます。
1班10人以下で、1班に2人のインストラクターが付きます。
監視船(巡視艇)やライフセーバーもおります。
タンDEM艇(2人乗り)も20艇あり。
温かい時期なら今流行りのSUP(スタンド・アップ・パドルボード)も楽しめます。

水面がキラキラしてきれいでした。
シーカヤックは体全体を使う。
波があまりなく、安心してやれました。
インストラクターの人が、とても面白くわかりやすかったです。
瀬戸内海が予想以上に波が静かでした。
海の匂いを感じられた。

《島内被爆体験講話》

江田島市 原爆語り部の方々のプロフィール

クラス単位・少人数
での対話形式で
行います

No. 1



【氏名】 大原 忠
【生年月日】 昭和 16 年 7 月 3 日生まれ
【住所】 江田島市江田島町中央
【経歴】 江田島市原爆被害者の会会長（会員数 約 170 名）
【原爆投下当時】
4 歳の時広島市宇品町の自宅で父親とともに被爆

No. 2



【氏名】 上松 利枝
【生年月日】 昭和 9 年 11 月 23 日生まれ
【住所】 江田島市江田島町切串
【経歴】 江田島市原爆被害者の会副会長、旧江田島町役場職員
2010 年 5 月 N P T（核拡散防止条約）再検討会議
（ニューヨーク市開催）参加
【原爆投下当時】
8 月 7 日、父親を捜しに広島市宇品港から己斐まで歩いて探し、
入市被爆（当時 10 歳）

No. 3



【氏名】 丸子 妙子
【生年月日】 昭和 4 年 8 月 30 日生まれ
【住所】 江田島市江田島町切串
【経歴】 江田島市原爆被害者の会会員
【原爆投下当時】
自宅の南千田町から比治山高等学校動員学徒で第 5 師団
勤労時に直接被爆（当時 15 歳）

江田島市 原爆語り部の施設案内

施設番号 1



【施設名】 江田島コミュニティセンター
【住 所】 江田島市江田島町小用
【収容人員】 3 階大ホール 約 160 名
【諸設備】 音響設備及び空調設備有り、
エレベーター有り
【駐車場】 有り



施設番号 2



【施設名】 わくわくセンター
【住 所】 江田島市能美町中町
【収容人員】 1 階大ホール 約 300 名
【諸設備】 音響設備及び空調設備有り
【駐車場】 有り



施設番号 3



【施設名】 江田島市スポーツセンター
【住 所】 江田島市能美町中町
【収容人員】 1 階アリーナ 約 400 名
【諸設備】 音響設備及び空調設備無し
【駐車場】 有り



○その他 公民館施設等でも実施可能です。

本部宿舎①



Uminos Spa & Resort

〒737-2313広島県江田島市沖美町是長1433-2
TEL : 0823-49-1515 URL : <https://uminos.com/>

「ボーチおきみを改装し'19年7月再オープン！」
Uminos Spa & Resortの客室は、全洋室バストイレ付全和室トイレ付のオーシャンビュー。透き通った海が、マリンブルーから茜色に移り変わる様を客室から楽しむことができます。
Uminos Spa & Resortは全室テラス付のお部屋。是非ご宿泊いただいたお客様にご体感いただきたいのが、朝起きた時にテラスに出て朝日に照らされた瀬戸内海をご覧いただくこと。
海風と潮騒に満たされた空間に身を置きながら、柔らかな朝の日光で癒されていただけましたら、すっきりした目覚めを得ていただけることでしょう。



宿泊定員48名



和室 10畳×2部屋、8畳×8部屋



洋室 3部屋



展望大浴場

夕暮れ時の眺望は最高です。



食事

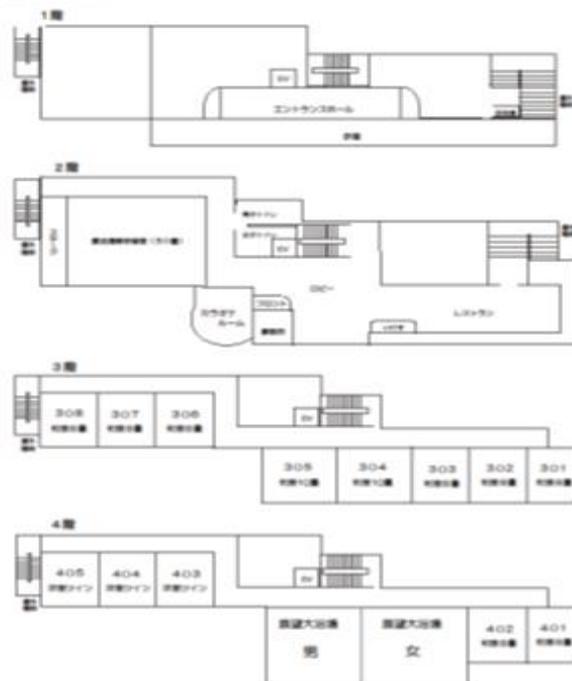


施設周辺



館内(ロビー)

館内案内図



● 館内設備

和室10畳 (2部屋・定員5名様)
和室8畳 (8部屋・定員4名様)
洋室 (3部屋・定員2名様)

※自動販売機は4階にあります。
(ビール1台、ジュース1台)
※洋室はバス・トイレ付、和室はトイレ付です。
※障子窓の片側のトイレは2階にあります。

本部宿舎②

①坪希旅館

住 所 江田島市沖美町畑6-2
電話番号 0823-48-0018
客 室 10部屋
定 員 30名



趣のある古民家風の宿で
新鮮な魚料理を堪能でき
ます。

②ペンションわだ

住 所 江田島市沖美町美能965
電話番号 0823-47-1121
客 室 6部屋 定員15名

③ねんごろなじま

住 所 江田島市能美町鹿川4724-28
電話番号 0823-45-4708
客 室 3部屋 定員20名

予約について

予約可能時期までは、当協議会が御社の希望に基づき本部宿舎を押さえ、予約可能時期後に御社から正式な御予約をしていただきます。



新学習指導要領改訂に対応して

「主体的・対話的で深い学び」のために

* 江田島海生体験交流協議会 *

新学習指導要領の改訂で従来からの「生きる力を育む」に加えて「主体的・対話的で深い学び」の視点から特別教育活動、とりわけ修学旅行等で、その実現に向けての期待が高まります。主体的に事前、事後学習を行うことに加え、現場での対話的な体験学習により狙いの深い学びとなります。旅行先での学習のテーマは地域事情に合致したものでなくてはなりません。地域の魅力と課題を示すことにより主体的なテーマの選択が可能となります。

魅 力

①美しい海と島の豊かな自然

3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ）のまち。県内有数の柑橘、花卉の栽培地。質・量ともに日本一を誇る広島のカキの代表的産地。カキ筏の並ぶ風景は江田島ならではの！近年ではオリーブの栽培にも注力！

②潮風薫る、歴史の島

江田島の旧海軍兵学校は、世界3大兵学校の一つといわれています。心地よい風に吹かれながら明治時代の歴史や歴史的建造物、特攻隊など昭和の歴史が学べます。

③2つの世界遺産に近い民泊地

修学旅行の第1目的は広島市の平和学習。その広島市に近く、また、厳島神社のある宮島にも近い！都市部（広島・呉）に利便性の良い地で心とココロの交流ができます。

課 題

①農業・漁業の後継者不足

過疎高齢化が進み、第1次産業の担い手がない。空き家や耕作放棄地が増え、さらには鳥獣被害で自慢の農業にかけりが。

②青い海が泣いている

浮遊ゴミが多くなるなど、管理が行き届かなくなっている。海浜清掃の費用も嵩み、市の財政を圧迫。

③観光客数の伸び悩み

観光客数は、最近の5年間で毎年54万人前後と伸び悩んでおり、大型宿泊施設が少ないこともあって宿泊客数が観光客数の5分の1に止まっている。広島や宮島、呉といった観光地に隣接しており、また、カキや旧海軍兵学校といった大きな魅力がありながら、地の利や魅力を生かしきれていない。

海岸・海浜清掃プログラム

SDG 取組プログラム

12. つくる責任 つかう責任

14. 海の豊かさを守ろう

目的・概要

本市の課題や環境問題等を生徒自身が考える。
また、海岸へのプラスチック類などの漂着ゴミを拾い、海洋汚染の防止に取り組むとともに美しい瀬戸内海の景観の保全を行う。さらには、実際にキレイな海にすることで、受入れ地域へ貢献する。

教育効果

漂着ゴミの多さやその発生原因を考え、理解し、いかに大量の廃棄物が投棄され、環境悪化を招いているかを知ることにより、使う側の責任の重さと海洋汚染防止の重要性に気付くことができる。
事後発表等により生徒自身が自発的に考えるきっかけができる。
清掃により社会貢献の大切さを学ぶことができる。

体験人数と会場

120人（40人×3箇所）

主となる3箇所（長瀬海岸・長浜海岸・入鹿海岸）ほか

時間と時期

120分（2時間）

②現地説明(20分)、③調査・体験(80分)、⑤発表(20分)

通年可能

※調査終了後、市からの感謝状を生徒に贈呈します。

流れ

①事前学習



学校で地域について学習する。
また、どんなゴミが漂着しているかを考える。

②現地説明



担当者から会議室等において、漂着ゴミ問題の概要や問題点を説明する。

③調査・体験



インストラクター等の指導のもとで、漂着ゴミを収集し、ゴミの種類やどこから流れてきたかを分別する。

④報告物作成



漂着ゴミの実態（量・種類・出どころ）、問題点、発生原因（どのように発生したか）、解決策（ゴミが発生しない仕組みづくり）、日々の生活にどのように活かしていくか（例：レジ袋のゴミが多かったため、エコバックを使うようにしようなど）をまとめる。
学校や受入地域において発表する。

⑤発表



オリーブお助け隊～地域活性・社会貢献プログラム～

SDG s 取組プログラム
8.働きがいも経済成長も
15.陸の豊かさも守ろう



オリーブ園



オリーブの実



オリーブオイル



収穫

選果

搾油

味見

製品

販売

○オリーブプロジェクトの概要

江田島市では地域の気候風土を生かし、新たな産業と特産品づくりを目指して、オリーブの栽培を開始。耕作放棄地や遊休農地を再生し、利用可能な耕作地にして働き甲斐のある事業を起こし、地域活性化に繋げる。オリーブを通じて市民と行政、企業が連携して活気あるまちづくりを実現。オリーブで地域を元気にする。

○プログラムの教育効果

目に見える成果が出る収穫という体験を通して、働き甲斐や働くことの大切さを学ぶことができます。大規模開発された農地を見ることで、森林や農地の維持管理運営の大切さを理解することができます。

○持参するもの・服装ほか

- ・タオル
- ・汚れてもよい服装（長袖、長ズボン）
- ・帽子
- ・動きやすく、汚れてもよい靴

○体験プログラムに含まれるもの

- ・お土産としてオリーブオイル100ml(瓶体1本)×1本
- ・プログラム修了証書又は感謝状

《プログラムの流れ》

- (1)自己紹介・流れ・注意事項等の説明
《10分》
- (2)農園移動、農園の紹介
《15分》
- (3)オリーブの基本情報、収穫体験の説明
《10分》
- (4)収穫体験・選果作業ほか
《120分》
- (5)オリーブオイルができるまでの説明
オイルテイasting（味比べ）
《20分》
- (6)まとめ・質疑応答
《5分》



最大受入人数：40名
最少催行人数：10名

